

# 喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育の考え方と指導内容

## 1 喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育の目標と観点

### (1) 指導の目標

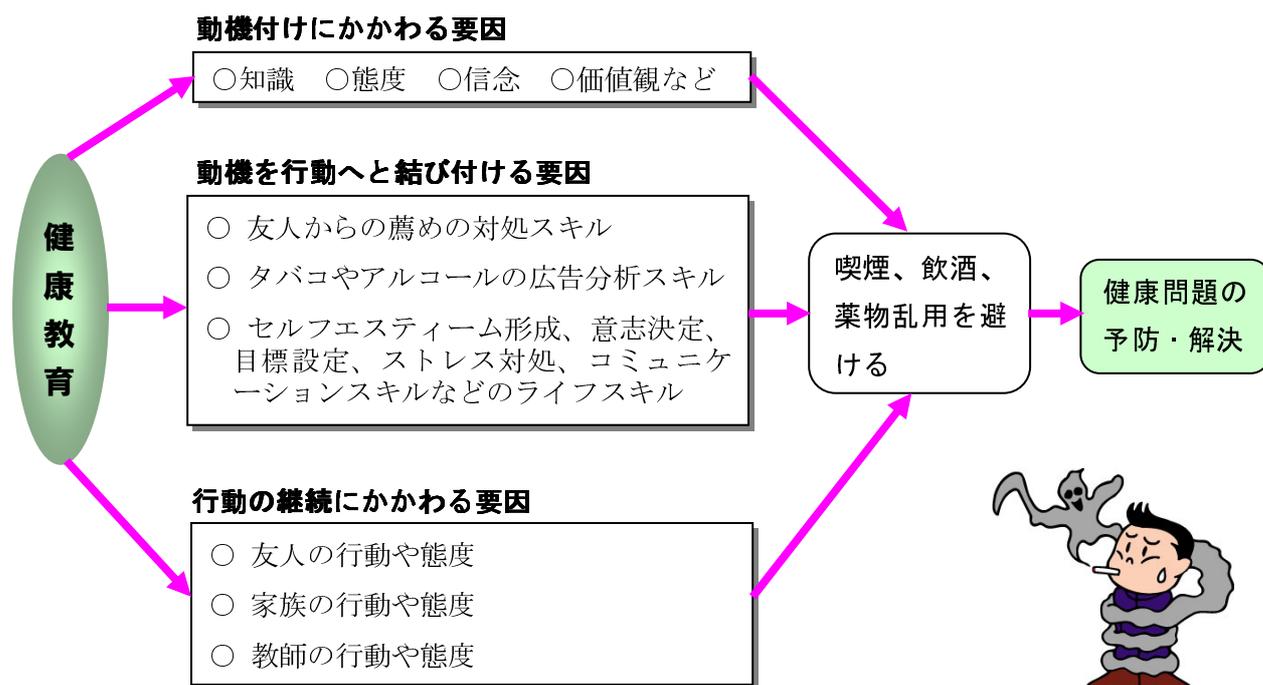
喫煙、飲酒、薬物乱用を防止し生涯を通して健康・安全で活力のある生活を送ることができるような資質や能力を育てる

- ① 喫煙、飲酒、薬物乱用が健康や社会に及ぼす影響及び社会的対策について知識を身に付け、理解する。
- ② 喫煙、飲酒、薬物乱用が健康や社会に及ぼす影響の重大性及び社会的対策の重要性に気付くとともに関心を持ち、それらを解決しようとする意欲を高める。
- ③ 喫煙、飲酒、薬物乱用にかかわる要因に気付き、喫煙、飲酒、薬物乱用をしないという意志決定のための能力を身に付け、自らの生活をコントロールできる。
- ④ 地域や社会生活において、喫煙、飲酒、薬物乱用防止のための活動ができる。

### (2) 指導の観点

指導内容を選定するにあたり、青少年の喫煙、飲酒、薬物乱用行動の形成要因について考慮する必要がある。単に、健康影響に関する情報を提供するだけでなく、次の3つの要因のすべてに対して適切な働きかけをする必要がある。

#### 【喫煙、飲酒、薬物乱用防止にかかわる要因図】



グリーン (Green, LW) のプリシードモデルを喫煙、飲酒、薬物乱用に適用